

報道関係各位

2011年12月1日
株式会社 高橋書店

「手帳は高橋」年末広告キャンペーン

「ハナちゃんにまけるな。」

今年高橋書店の広告に出演するのは“ハナちゃん”
気仙沼で明るくひたむきにボールを追いかける女の子が
2012年に向けてこの国に元気を届けます。

TV-CM「ハナちゃんにまけるな」篇（15秒/30秒）
2011年12月1日（木）から全国オンエア

株式会社高橋書店（本社：東京都文京区音羽1-26-1 社長：高橋秀雄）は、年末に向けて「手帳は高橋」広告キャンペーンを開始します。今年出演いただくのは気仙沼でサッカーに打ち込む小学6年生のハナちゃんです。新TV-CM「ハナちゃんにまけるな」篇（15秒/30秒）を2011年12月1日（木）から全国で放映。さらに新聞広告や駅貼りポスターなどのグラフィック広告を展開します。手帳を提供することで“一人ひとりの予定を支え、充実した毎日に貢献する”ことをめざす高橋書店。この広告を通じて、2012年の日本に、みなさんに、元気を届けられることを願っています。

■「手帳は高橋」年末キャンペーンについて

2011年3月11日、未曾有の震災がこの国を襲いました。多くの方々が被災され、復興への道のりはまだまだ見えません。このような状況の中、新しい一年に向かってどのようなメッセージを広告に込めればいいのか……長い時間議論を重ねてたどりついたのは「日本に元気を届けたい」という思いでした。被災地をはじめとして、この国はまだまだ日常を取り戻せない厳しい状況が続いています。けれども一方で、一人ひとりが復興に向かって一步一步力強く進んでおり、その成果は着実に形になっています。そんな前向きな日本を後押しし、明るい2012年を願って、元気を届ける広告にしたいと思ったのです。そう考えたときに頭に浮かんだのが、気仙沼で出会った一人の女の子の笑顔でした。

■気仙沼のサッカー少女“ハナちゃん”

小学生サッカーチーム「気仙沼シャークス」キャプテン、背番号7番フォワード、小学6年生のハナちゃん。彼女と初めて出会ったのは震災後間もない2011年6月でした。被災地支援活動の一環として実施された子ども向けサッカー教室を弊社がサポートした際、ハナちゃんも「気仙沼シャークス」の一員として参加していたのです。宮城県気仙沼は甚大な被害にあった地区の一つ。まだ深刻な被災の跡が残るこの町で、ハナちゃんは決して下を向くことなく、元気に毎日を送っていました。そして、チームで数少ない女の子ながらキャプテンとしてみんなを引っ張り、少しでも上手になりたい、試合でいいプレイがしたいとボールを追いかけていました。サッカー教室ではじっくりとお話しする機会はなかったのですが、そのひたむきで明るい笑顔が強く心に残っていました。今回あらためて気仙沼に伺ってハナちゃんをご家族にお目にかかり「日本に元気を届けたい」という広告の趣旨をご説明したところ「震災で日本中の方から支援をいただき、その感謝をどうにか表せないかと考えていましたので、喜んで協力させてください」とありがたい返事をいただきました。

■TV-CM とグラフィック広告について

TV-CM「ハナちゃんにまけるな」篇は、数日間にわたってハナちゃんに密着するドキュメンタリー形式で撮影が進みました。「気仙沼シャークス」で練習をするシーン、町のあちこちでボールを蹴るシーン、さらには通学や学校生活、インタビューまで、その映像は膨大な量に。撮影中、いつも明るく笑顔のハナちゃんに、制作スタッフはあらためてファンになってしまいました。また、ご家族をはじめ、チームのコーチ、友だち、町のみなさんが本当にあたたかくご協力くださいました。撮影が進むうちにすっかり打ち解けてしまい、別れる時には涙を浮かべる人も。美しい風景に囲まれる気仙沼は、暮らす人たちもみな優しく、いつか必ず再訪したいと強く思われました。

TV-CM ではひたむきにボールを蹴り、気仙沼で強く生きるハナちゃんの姿に、インタビューから抜き出した彼女自身の前向きな言葉が重なります。キャッチフレーズは「ハナちゃんにまけるな。」けれどもハナちゃんは、特別な女の子ではありません。日本中には、同じように前を向いて毎日元気にがんばるたくさんの子どもたちや大人たちがいるはずです。この言葉には「そんなたくさん“ハナちゃん”にまけない明るさと元気で、一緒に2012年を盛り上げよう」というエールを込めています。

残念ながら広告ではほんの一部の撮影素材しかご覧いただけませんが、インターネットの特設サイトにスペシャルムービーとアルバムもアップされますので、ぜひそちらもご覧いただければ幸甚です。